

② 文化的サービス

私たちは、文化的サービスとして、五穀豊穰を祝う祭り・伝統芸能や食文化などの文化的多様性、鎮守の森などの精神的・宗教的価値、自然とのふれあい活動などによる教育的価値、自然公園・名勝にみられるような審美的価値、天然記念物などの文化的遺産価値、公園利用などを通じたレクリエーションやエコツーリズムといったサービスを受けています。

アンケートによって満足度の高い項目として示された「芸術・文化水準」、「教育環境」、「レジャー・レクリエーション施設の充実」については、この文化的サービスと関係があります。

文化的サービスの海の拠点ともいえる海の中道には、「海の中道海浜公園」や水族館「マリワールド海の中道」、「雁の巣レクリエーションセンター」など多くの施設が集積しており、レジャー・レクリエーション、自然体験などの環境学習が盛んに行われています。

そして、市の南側の山地には、「油山市民の森」のほか、脊振山系の尾根部を中心に複数の登山コースやキャンプ場があり、山の自然を楽しむことができる環境にあります。

また、玄海国定公園に指定されている玄界灘沿岸は、白砂青松の海岸が展開する海岸景勝地であり、博多湾を抱く細長い半島・海の中道とともに、本市のシンボルともいえる優れた自然景観となっています。名所旧跡も多く、本市を訪れる観光客にとっても魅力的な観光スポットともなっています。



写真提供：まるごと福岡・博多（福岡市）

図 12 福岡市のレクリエーション拠点（左：海の中道、右：油山市民の森）

本市にはレジャー・レクリエーション施設だけでなく、潮干狩りなどを楽しむことができる自然環境が残されている点も魅力となっています。例えば、自然海岸では釣りや海水浴、潮干狩り、バードウォッチングなどを楽しむことができ、山地では登山やハイキング、キャンプなど、多様な自然レクリエーションのフィールドが広がっています。

本市は、市街地と自然環境が近接したコンパクトな都市構造を有しており、海や山といった優れた自然環境や、レジャー・レクリエーション施設へのアクセス性が高く、自然に親しみやすい都市です。また、周辺地域にも、唐津から宗像にかけての玄界灘や、佐賀県に接する脊振山地、糟屋郡の三郡山地など、海と山の自然が市街地から自動車でおおむね1時間圏内に広がっています。

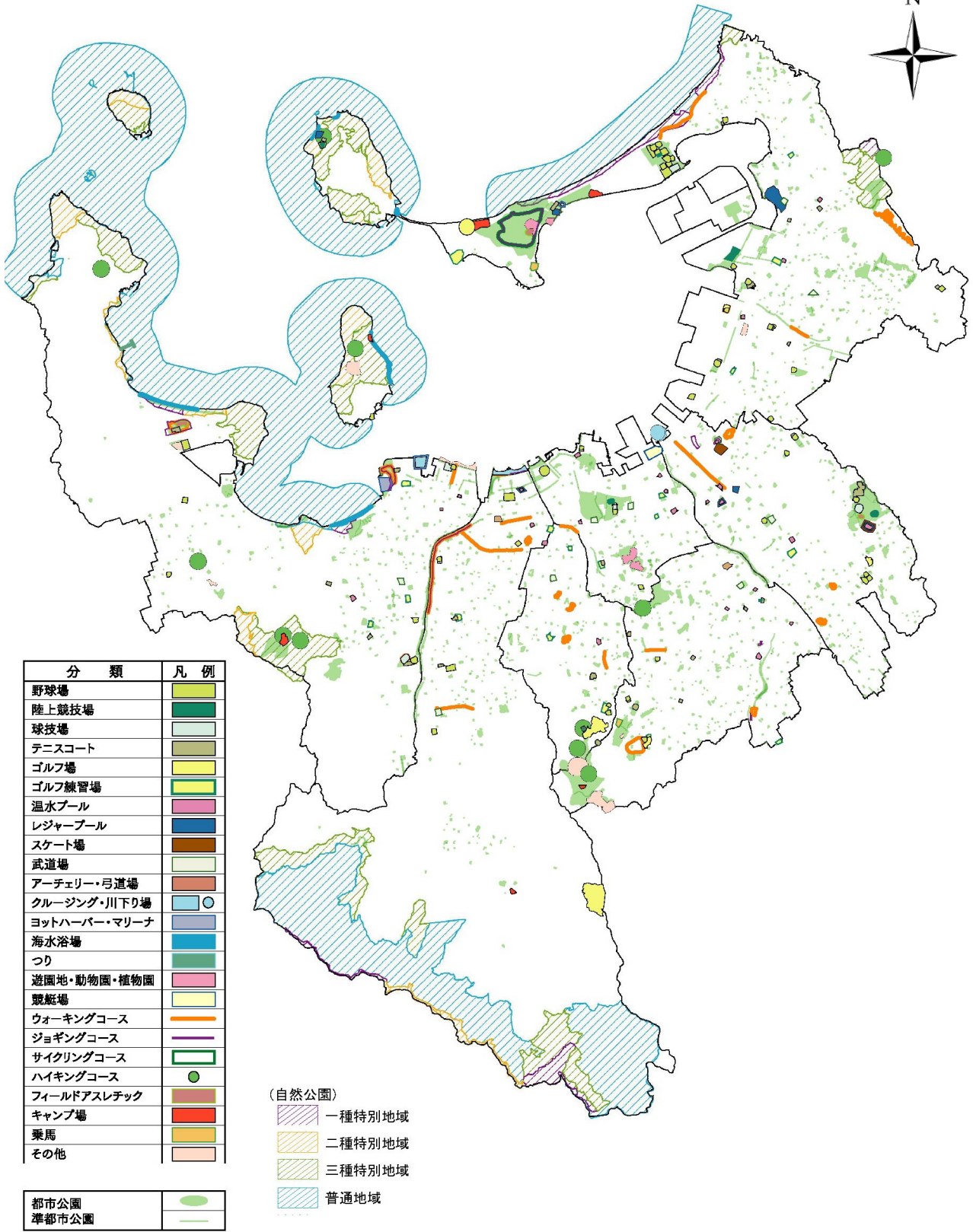
このような都市環境にある本市では、都市的サービスが充実した市街地に居住しながら、身近に自然環境に触れることができる点が、市民アンケートにおいて「自然環境の豊かさ」が評価されている要因の一つになっているものと考えられます。

また、本市はこれまで三次産業に比重を置いた産業構造であったことから、鉱工業を中心に発展してきた他都市と比べて、過度に環境を悪化させる要因が少なく、市域および周辺地域に良好な自然環境が保たれてきました。



写真提供:まるごと福岡・博多(福岡市)

図 13 福岡市の自然環境(左:潮干狩り、右:油山牧場)



資料:福岡市環境局GISデータ、福岡市新・緑の基本計画(2009年、福岡市住宅都市局)

図 14 公園・緑地等の分布



[凡例]



資料:福岡市環境局GISデータ、福岡市新・緑の基本計画(2009年、福岡市住宅都市局)

図 15 自然レクリエーションが行われている主な場所

(9) 快適な生活を支える生態系サービス

① 基盤サービス

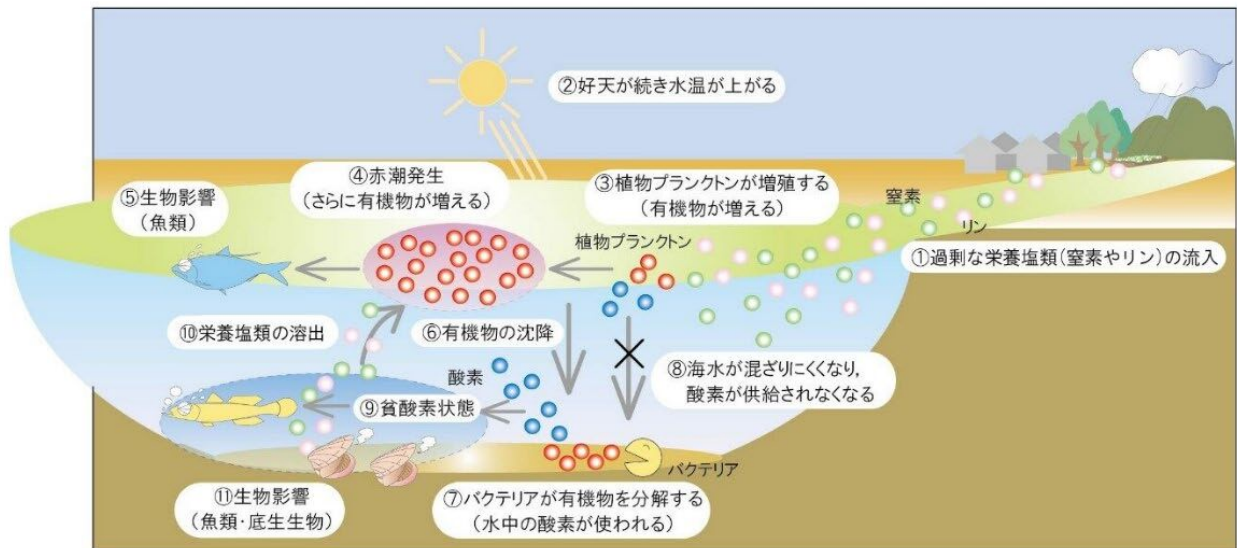
基盤サービスは、他の生態系サービスを生み出すために必要なサービスです。生息・生育地の供給や栄養循環、土壌形成、大気中酸素の生産、水循環といった一次生産や物質循環がこれに該当します。生態系サービスの他の三つである供給サービス、文化的サービス、調整サービスは、すべてこの基盤サービスによって支えられています。

近年の人間活動の拡大に伴う環境問題は、人間活動によるかく乱によって、基盤サービスに含まれる物質循環やエネルギーの流れのバランスが崩れることが、根本的な要因となっておりともいわれています⁴。

例えば、本市の地形は、博多湾と、それを取り囲む脊振山地や三郡山地に囲まれた半月型の沖積平野であることが特徴です。このため、山地や平野部における環境の変化は、水循環を通じて博多湾の水質や底質、さらにはそこに生息する生きものに影響を及ぼします。

博多湾では、富栄養化*に伴う有機汚濁*が発生することがあります。これは、梅雨時期などに陸域から流入する栄養塩類が増加し、それに伴って植物プランクトンが増殖し、水中の有機物濃度が高くなるために生じるものです。さらに、水温や日射量の上昇によって植物プランクトンの増殖が活発になると、その密度が高まり、赤潮が発生することがあります⁵。

本市を含む博多湾流域では、都市の発展に伴い、土地利用や市民のライフスタイルが変化してきました。こうした流域全体の環境変化が、栄養塩類などの物質循環に影響を与えているものと考えられます。



出典：博多湾環境保全計画（第三次）（2025（令和7）年）

図 16 有機汚濁、赤潮発生、貧酸素水塊発生のおくみ

⁴ 平成 22 年版環境・循環型社会・生物多様性白書

⁵ 福岡市環境局「博多湾環境保全計画（第三次）」（2025（令和7）年）

② 調整サービス

森林や農地などの自然に覆われた土地があることで、気候がやわらげられたり、洪水が起こりにくくなったり、水がきれいに保たれたり、大気の状態が調整されたりします。これらは、私たちの生活環境を安全で快適なものに保つ大切な働きです。また、海は気候の急激な変化を和らげるとともに、多くの炭素を蓄え、二酸化炭素を吸収する役割を果たしています。この働きにより、地球温暖化の防止にも貢献しています。このように、私たちの快適な暮らしを支える生態系の働きは、「調整サービス」と呼ばれています。

前述のアンケート調査で満足度が高かった「自然災害が少ない」という項目も、この調整サービスと深く関係しています。例えば、緑地には蒸発散作用によって地表の温度上昇を抑え、周囲の空気を冷やす効果があります。そのため、夏の暑い時期でも、緑が多い山間部や島しょ部では気候が比較的安定しています。一方で、緑地の少ない市街地では、郊外に比べて気温が高くなるヒートアイランド現象が起こり、都市の快適さが損なわれることがあります。

また、自然に覆われた土地は雨水を一時的に蓄える働きがあります。山間部や田畑が多い地域では、雨がゆっくりと地面にしみ込むため、川の水位が急激に上昇しにくくなります。しかし、自然被覆面*の少ない市街地では、雨水がそのまま河川に流れ込むため、想定を超える雨が降った場合には、一気に川が氾濫してしまうことがあります。

さらに、河畔にヨシなどの植物が生えている自然護岸の河川や干潟には、汚れた水が直接海へ流れ出るのを防ぐ緩衝作用があります。これにより、有機物などの濃度が急激に高くなるのを抑え、海域の水質悪化を和らげています。

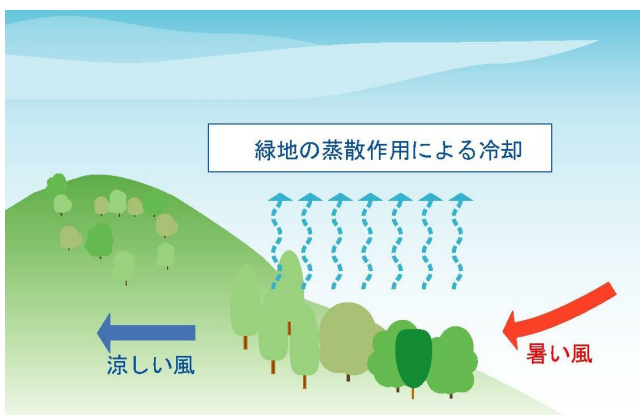


図 17 緑地による気温安定

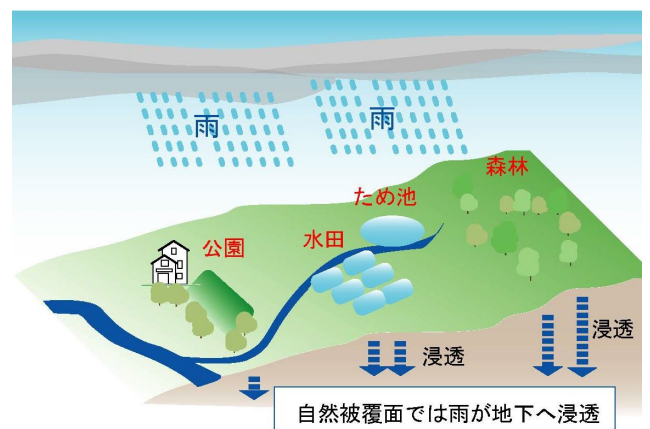


図 18 自然被覆面による降雨の保水

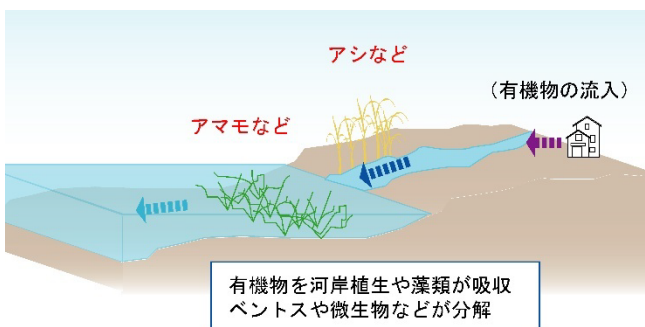
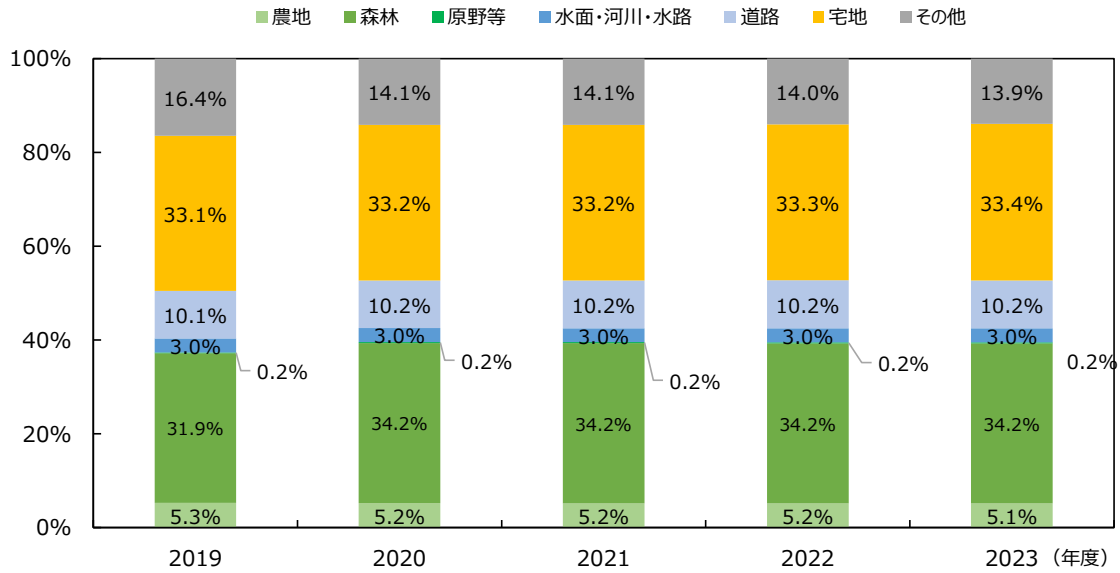


図 19 自然河川や干潟による水質浄化

本市は、耕地面積、林野面積、宅地等の構成比が、政令指定都市の平均的な構成比と同程度となっています。

本市は、都市化が進行したとはいえ、関東圏、関西圏の大都市に比べると耕地面積、林野面積の比率が高く、これらが、調整サービスの機能を高め、快適な生活環境をつくる要因の一つになっているものと考えられます。



出典：福岡県ホームページ「土地利用現況把握調査」

図 20 土地利用面積の推移

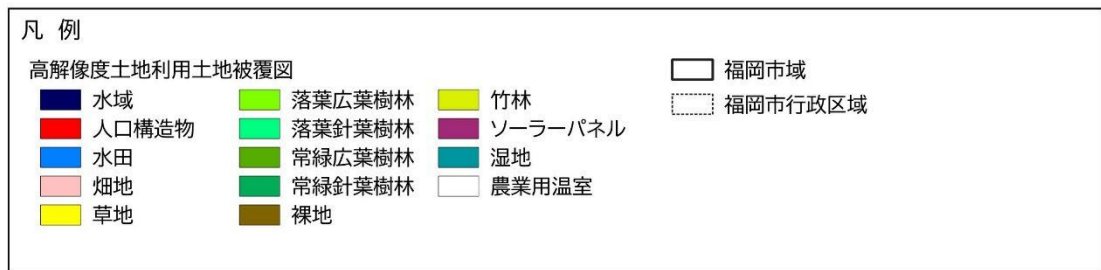
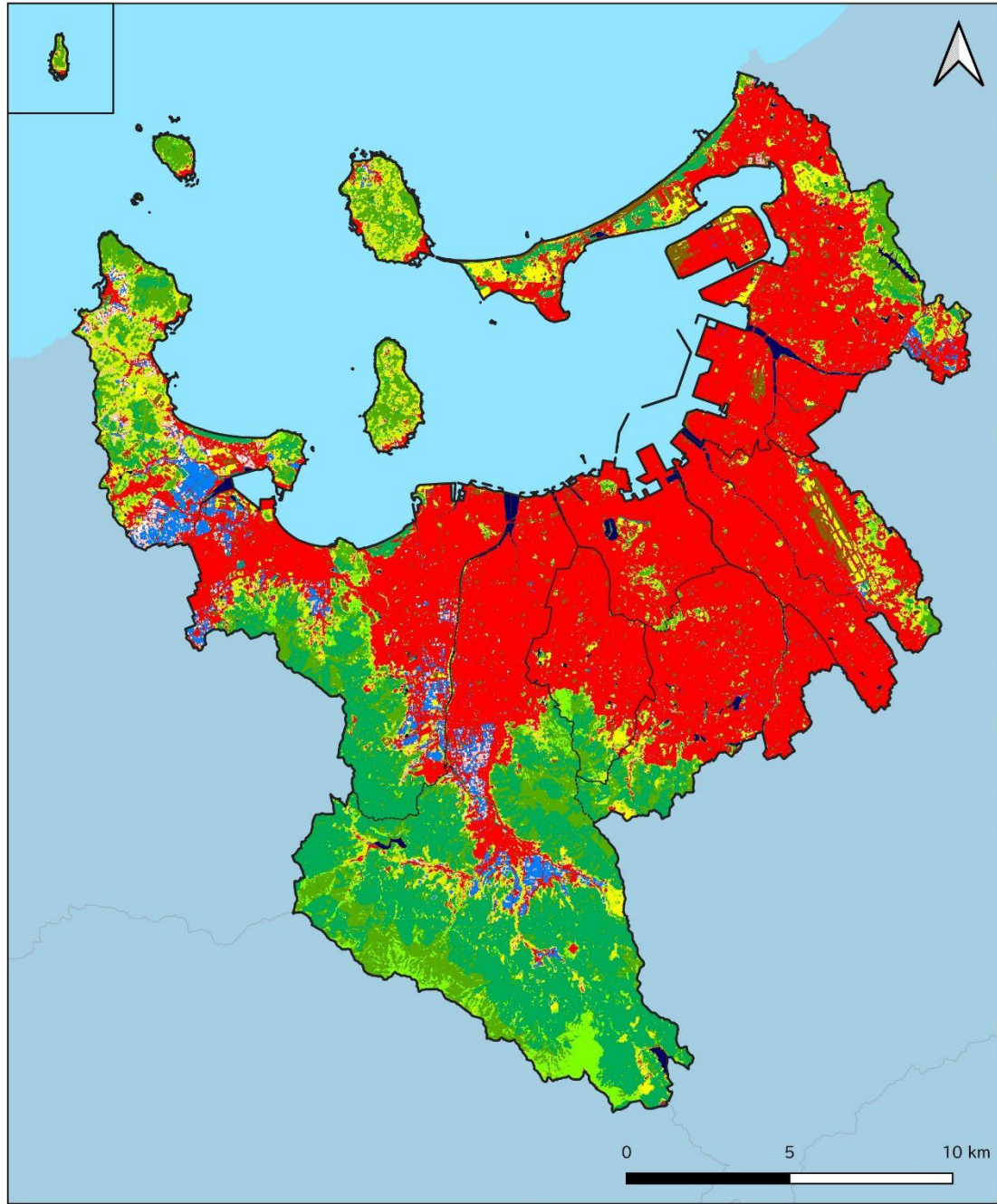


図 21 高解像度土地利用土地被覆図(2022年)